

令和8年度予算が成立しました

第六次釜石市総合計画後期基本計画のスタートとともに「地域医療の充実」「子育ての支援」「教育の充実」「産業の振興」「防災対策の充実」の5つの柱で持続可能なまちづくりを推進する予算として編成した本年度の予算の概要をお伝えします。

問い合わせ
市財政課
☎27-8416

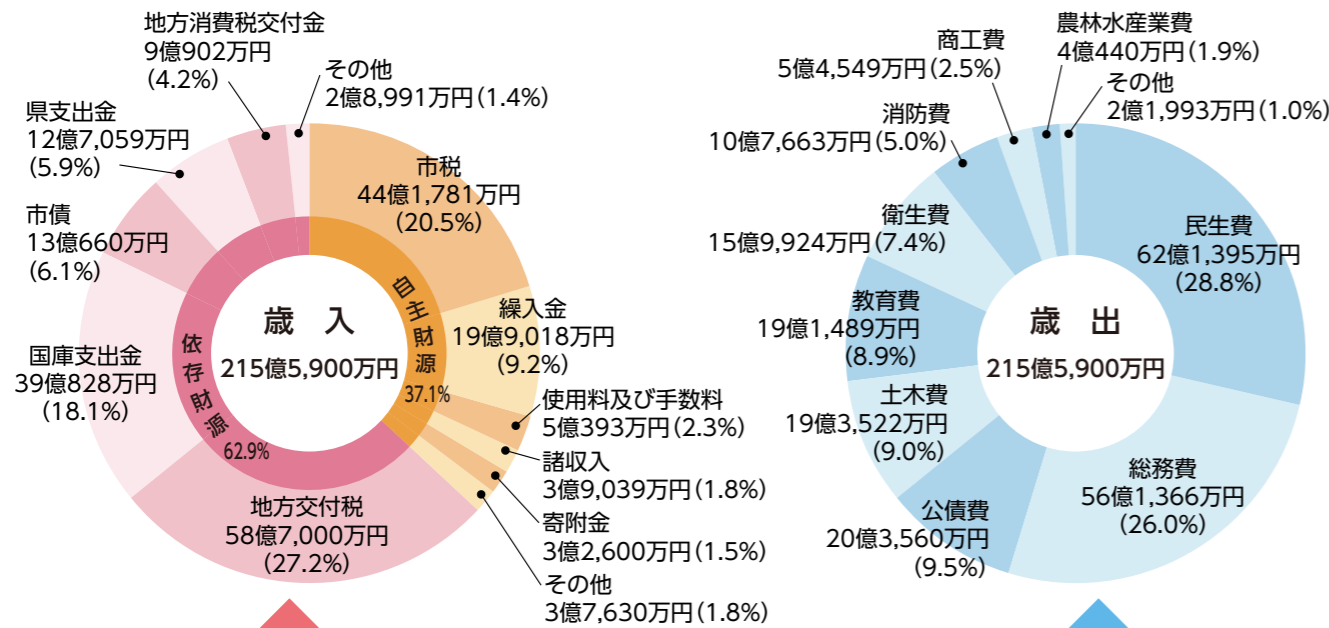


予算の詳細はこちら

予算総額 215億5,900万円

※四捨五入の関係で合計額などが合わない場合があります

前年度比31億6,100万円減 12.8%減



市債：前年度比37億100万円減 73.9%減
新庁舎建設事業など大型事業の借入金の減少

地方交付税：前年度比5億2,000万円増 9.7%増
経済・物価動向等を反映させた国の地方財政計画の推計による増加

繰入金：前年度比2億2,673万円増 12.9%増
新市庁舎の建設や移転経費に伴う庁舎建設基金繰入金の増加

諸収入：前年度比1億5,080万円減 27.9%減
自治体情報システムの標準化に伴うデジタル基盤改革支援補助金の減少

市税：前年度比1億2,582万円減 2.8%減
主要企業の減収予想に基づく法人市民税の減額による減少

総務費：前年度比24億1,163万円減 30.1%減
新市庁舎の建設工事や防災関連システムの移設経費の減少

消防費：前年度比4億8,292万円減 31.0%減
いわて消防指令センター総合整備事業の進捗に伴う釜石大槌地区行政事務組合分担金の減少

土木費：前年度比1億4,576万円減 7.0%減
市営釜石ビルの改修工事や野田団地市営住宅の解体経費の減少

教育費：前年度比1億4,534万円減 7.1%減
甲子小学校のトイレ改修工事や児童生徒配付用タブレットの更新費用の減少

農林水産業費：前年度比1億3,522万円減 25.1%減
室浜漁港（片岸地区）の防波堤機能保全工事の減少

予算を市民1人当たりになると?

一般会計の予算を1人当たり換算すると、76万9,552円となり、市民生活の向上や地域経済の活性化などさまざまな施策に取り組んでいます。

市民1人当たりの予算
※令和8年1月末現在の人口を用いて算出
76万9,552円

民生費 22万1,808円	児童、高齢者、障がい者のための施設の整備や福祉サービスなどの経費	衛生費 5万7,085円	健康推進、環境保全、ごみの収集などの経費
総務費 20万381円	市役所の運営、住民票の発行、税金の徴収や選挙などの経費	消防費 3万8,430円	火災予防対策、消防施設の整備・管理、消防団に関する経費
公債費 7万2,661円	道路、河川、漁港などの施設を整備するために借り入れた市債(借金)の返済経費	商工費 1万9,471円	商業や工業、観光の振興などの経費
土木費 6万9,078円	道路、公営住宅、公園などの整備や維持管理経費	農林水産業費 1万4,435円	農業や林業、水産業の振興などの経費
教育費 6万8,352円	学校教育や給食センターなどの経費	その他 7,850円	議会運営、労働対策などの経費

令和8年度

施政方針



市議会3月定例会で小野市長が令和8年度の政策の方針を述べる施政方針演説を行いました。ここではその概要をお伝えします。

- 1 地域医療の充実**
地域内で必要な医療を受けられ、安心して暮らせるよう、岩手県や医療関係者と連携し、県立釜石病院内の建替えやリハビリテーション機能の強化を進めるなど、地域医療体制の充実を図ってまいります。
- 2 子育ての支援**
第3期釜石市子ども・子育て支援事業計画に基づき、ライフステージに応じた切れ目ない支援体制の充実、幼児教育施設における教育内容や特別支援教育の充実、さらには、すべての子どもが安心して居場所づくりを推進し、子ども・子育てにやさしいまちを目指してまいります。
- 3 教育の充実**
学力向上と人間性豊かな児童・生徒の健全育成など、教育の充実に取り

- 4 産業の振興**
市内事業者の経営改善、起業支援および企業誘致を進め、地域経済の活性化に取り組んでいきます。釜石港の機能強化や脱炭素先行地域づくりを官民連携で推進するとともに、水産業をはじめとする一次産業から商工業、観光まで幅広い産業振興を図り、雇用創出と持続的な地域の発展につなげてまいります。
- 5 防災対策の充実**
巨大地震や大雨などの災害に備え「自助・共助・公助」による防災力の強化に取り組んでいきます。避難誘導や備蓄、情報伝達体制の充実を図るとともに、自主防災組織の活動支援や防災学習を推進します。あわせて、新市庁舎の防災拠点機能強化や要支援者の避難体制整備を進めてまいります。

【人口減少対策】
移住・定住の促進や若者の定着、つながり人口（関係人口）の拡大を柱に、地域全体の活力を高めるために人口減少対策に取り組んでいきます。

情報発信やお試し移住、ワーケーションの推進による市外の方々との関係づくりを進めるとともに、若者支援により、まちの活力の創出を図ってまいります。

令和8年度から第六次釜石市総合計画後期基本計画が開始する中、新市庁舎につきましては今年9月の開庁を予定しており、市民サービスの向上が期待されます。また、令和9年度には市制施行90周年という大きな節目を迎えます。

こうした節目を前に、中心市街地をはじめ各地で、市民や若者、企業が主体となった新たなにぎわいの動きが生まれており、地域の力と可能性を改めて感じていきます。震災を乗り越えて培われてきた「人と人とのつながり」は、今や確かな「地域力」として受け継がれています。

人口減少は避けがたい課題ですが、このまちの価値や可能性が失われるものはありません。市民一人一人が釜石の未来を思い描き、小さな歩を積み重ねることが、まちの魅力を高めていくと信じています。今後も市民の皆さんとともに考え、ともに行動し「愛着と誇りを育む 幸せを実感できるまち かまいし」の実現に向け、全力で市政運営に取り組んでまいります。

施政方針の全文はこちら

「持続可能なまちづくり」に向け優先して取り組む5つの優先プロジェクトおよび人口減少対策

「持続可能なまちづくり」に向け、優先して取り組む5つの優先プロジェクト（以下、優先PJ）を設定し、併せて、人口減少対策に取り組めます。5つの優先PJとして実施していく取り組みと人口減少対策は次のとおりです。

問い合わせ
市総合政策課
☎ 27-8413

※5つの優先PJと人口減少対策の事業数と予算額は重複する部分があります

産業の振興

34事業 1,362,641千円

市内事業者などの事業活動の活性化に向けた支援や、企業誘致の推進など、地域産業の振興に向けて取り組めます。また、当市の玄関口である鈴子地区のにぎわい再生に向け、既存施設などの活用や官民連携によるにぎわい創出の可能性を関係各課との連携を図りながら検討します。



具体的な取り組み

- 地の利を生かした企業誘致
- 環境省「脱炭素先行地域」の第5回募集で選定された計画に基づく官民連携による取り組みの推進
- サクラマスの海面養殖やウニの畜養などの取り組みを契機とした持続可能な水産業の構築

防災対策の充実

13事業 1,560,748千円

「自助」「共助」「公助」による災害対応の総合力強化を推進し、防災対策の充実を図ります。



具体的な取り組み

- 避難誘導標識の整備や備蓄品の充実・適正管理
- 戸別受信機の設置や防災アプリの導入を推進
- 町内会や自主防災組織に向けたスキルアップ研修
- 国の地域防災マネージャー制度を活用した実効性の高い災害対応体制を構築

人口減少対策

15事業 376,363千円

地域全体の活力を高めるため、一層のつながり人口と活動人口の創出を目指します。



具体的な取り組み

- 「知ってもらう」「来てもらう」「住んでもらう」の3つの段階に分けた移住・定住施策を展開
- 若者交流イベントの開催や新婚世帯の経済的負担を軽減するための助成、大学生の市内での活動を支援
- 若者や企業を対象としたアンケート調査やワークショップの実施

地域医療の充実

6事業 16,423千円

地域内で必要な医療を受けられ、安心して暮らせるよう、地域医療の充実に向けた取り組みを推進します。



具体的な取り組み

- 県立釜石病院の建て替えに合わせ、専門的リハビリテーション医療の提供と支援体制の構築
- ドクターカーの本格運用による救命率の向上
- オンライン相談の実施
- 予防接種事務デジタル化の導入に向けた検討

子育ての支援

14事業 434,970千円

第3期釜石市子ども・子育て支援事業計画に基づき、子ども・子育てにやさしいまち「かまいし」を目指します。



具体的な取り組み

- 「こども誰でも通園制度」の実施
- アウトリーチ支援員の配置
- 学校給食費の無償化の対象を第1子の児童生徒にも拡充
- 「妊産婦健康診査等アクセス支援助成金」の上限撤廃や市単独の「妊婦応援給付金」を継続
- 室内の遊び場の運営

教育の充実

29事業 273,841千円

地域に根ざした人間性豊かな児童・生徒の育成と学力向上に向け、当市ならではの学びの仕組みづくりに向けた取り組みを推進します。



具体的な取り組み

- 教育環境の充実に向けた学校規模の適正化・適正配置
- 子どもが主役の授業づくり
- 拠点校部活動の仕組みづくりの推進
- 世界遺産に関する施設見学や、大島高任生誕200年記念事業